

※ザンビア※

ザンビアはマラウイの西に位置し、多くの共通点があります。
例えば、部族や言語がマラウイと同じであったり、似ています。マラウイで話されているチェワ語やトンガ語はザンビアの一部地域で通じます。
また、ザンビア人(ザンビアン)の主食もマラウイアンと同じくシマです。



首都のルサカはマラウイと比べるととても栄えていて、高層ビルやショッピングモールがたくさんあります。特にショッピングモールの中には完全に先進国にいるような感覚に陥ります。マラウイとザンビア、隣国でこうも違うものか...と衝撃を受けました。



↑ 写真は村での炭の販売の様子
首都は栄えていますが都市から少し離れると、マラウイの農村地と同じような光景が広がっていました。



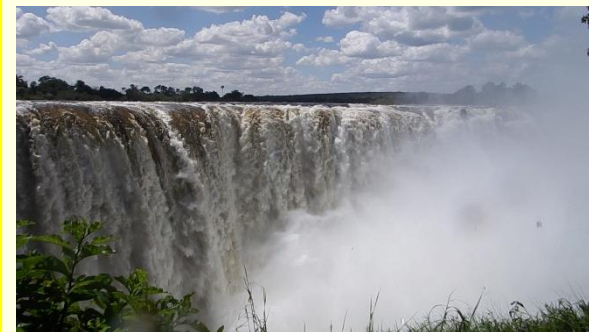
ザンビアは銅をはじめとした鉱物資源に恵まれているため、これらを使ったお土産も多く見られます。

☁ルナレインボー☁

ザンビアとジンバブエの国境にビクトリアの滝があります。これはナイアガラ、イグアスに並ぶ**世界3大瀑布の一つ**です。今回の旅の目的は、**ルナレインボー**!!
ルナレインボーとは、月明かりによってできる夜に見られる虹のことです。雨季の3月~7月の間、しかも満月の夜とその前後の夜の3日のみに見られる現象で、とても幻想的で素敵な光景でした。



ザンビア側から見た滝&ルナレインボー!



ジンバブエ側から見た滝



↑ 日本人(元協力隊員)のお店の寿司
ザンビアはマラウイと同じく内陸国ですが、首都ルサカ、ビクトリアの滝の近くの観光地リビングストーンでお寿司や美味しい魚料理が食べられます。



滝周辺のアクティビティでは野生の**カバ**と**ワニ**に遭遇!!

ザンビアのビール MOSI(モシ)

このビールの名前は滝から付けられ、また、ラベルには滝が描かれています。ビクトリアの滝は現地語で「モシ・オア・ツニヤ」と言い、「雷鳴の轟く煙」という意味です。



マラウイに戻って感じたこと

▶ マラウイアンの人との距離の近さ ▶

他国との人と比べ、マラウイアンはとてもフレンドリー。いつでもどこでも誰とでも話します。他国ではマラウイと違いあまり話しかけられず少し寂しかったです。

▶ 夜、外が暗い ▶

これ、首都に着いて最初に感じました。マラウイには大きな都市にしか外灯はありません。もちろん首都にはあるのですが、点いている所を見たことがありません。ずっと停電しています。これまで特に違和感は無かったのですが、他国から戻って気づきました。

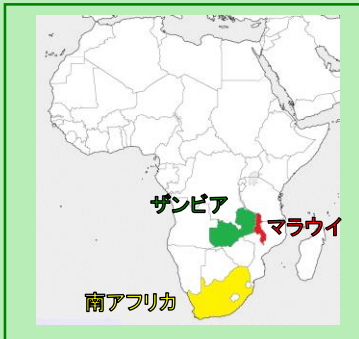
▶ やはりマラウイはアフリカ最貧国の一つ ▶

ザンビア・エチオピア・ウガンダ・ケニアの隊員から各国の話聞けました。農村部に関してはどの国もあまり変わりがなさそうですが、都市部の発達度合いがマラウイだけ飛び抜けて低かったです。他国にあるモールも映画館もマラウイにはありません。

貧しく、大きな観光地もないマラウイですが...平和でのんびりとしていて、良い人が多く、今改めてマラウイに赴任して良かったと思います!



Muli uli? こんにちは。
今回はZikomo通信番外編、マラウイのお隣**ザンビア**とアフリカ南端の**南アフリカ共和国**についてお伝えします。私達協力隊員は年間上限20日間、JICAによって決められた国へ渡航することができます。(渡航できる国は派遣国によって異なっており、大体4~8か国程です)この制度を利用して、4月のイースター休暇で**ザンビア**、**南アフリカ**を旅行してきました。
南アフリカは治安上の観点から、私達マラウイ隊員は南アフリカの中で**ケープタウンのみ行くことができます。**



※南アフリカ ケープタウン※



南アフリカと言えば、**ワイン**!! ケープタウンにはたくさんのワイナリーがあり、工場見学やテイスティングが楽しめます。また、スーパーで販売されているワインもとても美味しく、値段も500~1000円程と安く手に入ります。写真(左)はスーパーのワインコーナー。この棚3列分程のワインがありました。右はワインの原材料となるブドウ畑。



← テーブルマウンテン

上部が平らになった神秘的な形はテーブルのよう。頂上からの景色は絶景。新世界七不思議(自然版)の一つ。



ボカールブ地区(重要文化財) →

ビビッドな色の建物が並ぶ奴隷たち(主にマレー人)の子孫が住んでいた地区。奴隷解放の喜びを色で表しているとのこと。

ケープタウンは完全に先進国でした! ビーチ、山、ワイナリー、美味しい食事ととてもリフレッシュできました。また、アパルトヘイト(有色人種差別政策)等のアフリカの歴史について学びなおす良い機会となりました。



↑ ケープタウンに複数あるビーチの一つ



↑ ケープペンギン
私が訪れた4月中旬は産卵、子育ての時期でした!